

科 目 名		学科／学年	年度／時期	授業形態	
作品展示計画Ⅰ		トータルインテリア学科／1年	2025／後期	演習	
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員	
90分	12回	0単位（24時間）	必須	鵜籠麻美	
授 業 の 概 要					
各自オリジナルなプレゼンテーションを行う為の準備 様々なアイデアでデザイン展を盛り上げる					
授業終了時の到達目標					
限られた時間で、自分自身の考えを相手に伝えるプレゼンテーションが出来るようになる 制作を通して、協調性・積極性等の人間力を身につける					
実務経験有無		実務経験内容			
有		建築士として8年の実務経験 経験を活かし実務に沿った教育を行う			
時間外に必要な学修					
回	テ ー マ		内 容		
1～6	卒業制作の制作				
7～8	プレゼン練習				
9	プレゼン				
10～12	デザイン展制作／設営		デザイン展'26		
教科書・教材			評価基準	評価率	その他
			出席率 授業態度 課題・レポート	10.0% 40.0% 50.0%	

科 目 名		学科／学年	年度／時期	授業形態
社会人基礎講座Ⅰ		トータルインテリア学科／１年	2025／後期	講義
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位（30時間）	必須	松尾誠司
授 業 の 概 要				
専門学校生が就職活動をスムーズに進めるための基本スキルを習得することを目的とする。自己分析から自己PRの作成、面接のポイントまでを段階的に学び、実践的な練習を通じて就活に活かす。また、社会人としての基本的なマナーや所作、電話応対、ビジネスメールの書き方も学び、円滑なコミュニケーション能力を養う。最終的には、実践的な就活セミナーを通じて面接対応力を確認し、即戦力としての力を身につける。				
ⅴ				
・就職活動に向けて、自分のキャリアビジョンを明確にする。 ・自己分析を通じて強みや適性を理解し、面接時に適切な自己PRができる。 ・面接の基本マナーと受け答えのポイントを習得し、対面・オンライン形式の面接に対応できる。 ・社会人としての基本的なマナー（挨拶、電話応対、ビジネスメールのやりとりなど）が身についている。				
実務経験有無	実務経験内容			
無				
時間外に必要な学修				
回	テ ー マ	内 容		
1	社会人基礎講座で学ぶこと？	目標設定、「働くこと」への考え方、就活の流れを理解する。		
2	自己分析	・短く簡潔に自分の強みを伝える方法 ・エピソードを交えて説得力のある自己PR作成		
3	自己PR作成	・短く簡潔に自分の強みが伝わる構成を考える。 ・エピソードを交えて説得力のある自己PRを作成する。		
3	自己PR発表	面接形式で自己PRを発表する。		
4	職業理解	各業界・職種の特徴を知り、自分に合う仕事を考える。		
5	面接準備① （質疑応答準備・履歴書準備）	・よく聞かれる質問に対して自分なりの答えを準備する。 ・デジタル履歴書を作成する。		
6	面接準備②	・面接の流れ、第一印象の重要性、よく聞かれる質問の対策。 ・入退室マナー、面接官との会話の仕方を練習（応接室想定）。		
7	面接準備③ （模擬面接）	・実際の面接に近い形で模擬面接を行う。 ・振り返りと改善点の洗い出し。		
8	Web面接対策①	オンライン面接の準備や基本操作を学び、自信を持ってオンライン会議ツールを使いこなせるようにする。		
9	Web面接対策②	Zoomを使用して実際の面接をシミュレーションし、実践的なスキルを身につける。		
10	グループディスカッションの対策	グループディスカッションでのポイント学び、練習する。		
11	面接対策④ （模擬面接Ⅱ）	・実際の面接形式での反復練習を行う。		
12	フィードバックと振り返り	・今回まで学んできたことの総括。 ・就活フォローセミナーに向けての確認作業。		
13	就活メールの練習	・メール送信・受信のポイント。 ・企業とメールでやり取りするケーススタディ。 ※面接の日程調整、面接後のお礼などを練習。		
14	電話応対の練習	・電話の受け方・かけ方、ビジネスマナー ・伝えるべき情報、確認の方法		
15	ビジネスマナー （挨拶の種類、角度、立ち振る舞い）	・基本的な礼儀作法（挨拶のタイミング、立ち振る舞い） ・礼儀を守ることの重要性		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
		課題・レポート	70.0%	
		実習・実技評価	30.0%	

科 目 名		学科／学年	年度／時期	授業形態
プランニング演習		トータルインテリア学科／1年	2025／通年	演習
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	74回	0単位（148時間）	必須	鵜籠 正木
授 業 の 概 要				
スケール感を身に付け、インテリア空間を機能的かつ美しくまとめる能力を養う				
授業終了時の到達目標				
前期、オリジナルデザインのテナント店舗の空間を計画・提案できる 後期、選択課題とし、より専門的な技術を習得				
実務経験内容				
有	建築士・インテリアコーディネーターとして住宅・店舗の設計及びコーディネート 現場での実体験をもとに実務に沿った教育を行う			
時間外に必要な学修				
実在する空間を数多く見て、使って研究する 様々な情報を集める癖をつける なぜそうなのか、常に理由を考える癖をつける				
回	テ ー マ		内 容	
1	コンセプトワークとは		コンセプトワークの進め方を理解する	
2	コンセプトワーク実習		写真から言葉を連想し、様々な角度から物事の考える力を身に付ける	
3～ 12	課題①自室のコーディネート		コンセプトワーク、簡易プランニング、コーディネートボード制作を通して、プランニングの一連の流れを理解する	
13～ 30	課題②物販店の提案		ヒアリング、コンセプトワーク、プランニング、コーディネートボード制作、模型制作、プレゼンテーション	
31～ 74	課題③修了制作		住宅のリフォームorディスプレイ製作のどちらかを選択し1年間の集大成となる作品制作（コンセプトワーク、プランニング、製作）を通してプランニングの基礎を身に付ける	
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
建築・インテリア系雑誌 資料集成		出席率 課題・レポート 授業態度	20.0% 60.0% 20.0%	

科 目 名		学科／学年	年度／時期	授業形態
造形演習		トータルインテリア学科／1年	2025／通年	演習
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	60回	0単位（120時間）	必須	鶴 籠 正 木
授 業 の 概 要				
図面上のコーディネートだけでなくとどまらず、実際のクロス、ファブリックに触れて、カラーコーディネートの基礎、小道具を含めた実践力となるディスプレイ、ショウイングを身に着ける				
授業終了時の到達目標				
コンセプトイメージを、立体の色、形、テクスチャーとして組み立て、スタイリングとして表現することを知得する				
実務経験有無		実務経験内容		
有		建築士・インテリアコーディネーターとして住宅・店舗の設計及びコーディネート現場での実体験をもとに実務に沿った教育を行う		
時間外に必要な学修				
インテリア関係の雑誌をたくさん見る				
回	テ ー マ		内 容	
1～ 2	オリエンテーション		コンセプト作り、企画デザイン、ディスプレイの仕掛け方等、商空間デザインのプロセスを理解する	
3～ 6	アートフレーム		立体コラージュ コンセプトテーマに沿った、アートフレーム制作	
7～ 10	ミニブース		ツールの使い方を含めた立体スタイリングのノウハウ （テーブルコーディネート、ディスプレイ実習）	
11～ 14	ラッピング		ラッピングの基本の包み方3種を知得、と同時にペーパーやリボンのカラーコーディネート実習	
15～ 23	イメージディスプレイ（グループ制作）		ウィンドウをイメージしたスペースに、壁紙コーディネート、什器デザイン、ショウイングを含む空間ディスプレイのプレゼンテーション	
24	プレゼンテーション			
25～ 30	課題製作		作品のブラッシュアップ	
31～ 32	インテリアセラピー		ヒーリングカラー&素材の使い方	
33～ 34	郊外学習		住宅展示場の見学	
35～ 38	ウィンドウディスプレイ 1 / 1 0 モデル		1 / 1 0 スケールのショップディスプレイのプレゼンテーション用模型制作①（コンセプトメイキング、プラン）	
39～ 40	郊外学習		モデルルームの見学	
41～ 48	ウィンドウディスプレイ 1 / 1 0 モデル		1 / 1 0 スケールのショップディスプレイのプレゼンテーション用模型制作②（製作）	
49～ 52	カラーコーディネートフレーム		カーテン生地や、壁紙のカラーコーディネート実習として、フレームを制作	
53～ 54	プレゼンテーション まとめ		作品プレゼンテーション、まとめ	
55～ 60	課題製作		作品のブラッシュアップ	
教科書・教材		評価基準		評価率
		出席率 課題・レポート 授業態度		30.0% 60.0% 10.0%
				その他

科 目 名		学科／学年	年度／時期	授業形態
モデリング		トータルインテリア学科／1年	2025／前期	演習
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	12回	0単位（24時間）	必須	上妻 竜
授 業 の 概 要				
スチレンボードをメインの材料として、平面を立体で表現する力を身につける				
授業終了時の到達目標				
模型制作を通して立体感覚を養う 実寸のミニチュアを作ること、目視で確認する能力を身につける				
実務経験有無	実務経験内容			
有	ハウスメーカー、設備関連会社に従事 現場での実体験をもとに実務に沿った教育を行う			
時間外に必要な学修				
カッターに慣れる スケール感覚を身につける				
回	テ ー マ	内 容		
1	模型とは カッターの使い方	道具・材料の説明 道具の使い方		
2	課題①立方体、円柱	一枚残し、糊付け		
3～5	課題②住宅模型	模型図面 開口部 仕上げ材の表現方法		
6～7	課題③家具・植栽・敷地	細部の表現方法について		
8～12	課題④2階建住宅模型	住宅模型の応用		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
配布プリント		出席率 課題・レポート 授業態度	20.0% 60.0% 20.0%	

科 目 名		学科／学年	年度／時期	授業形態
色彩計画		トータルインテリア学科／1年	2025／通年	講義
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	30回	0単位（60時間）	必須	南 敦子
授 業 の 概 要				
好き嫌いなどの感覚的な表現だけでなく、理論的・体系的に色づかいができる知識や技法を養い、あらゆるデザインのカラーコーディネートに活かせるようになる				
授業終了時の到達目標				
「色」の基礎知識習得の証として各分野のデザイナー、販売、企画といった幅広い職種から認知されている公的資格「(文部省後援)色彩検定3級」の取得				
実務経験有無		実務経験内容		
有				
時間外に必要な学修				
回	テ ー マ	内 容		
1	授業の目的と進め方について 光と色の関係	可視光とは何か理解する		
2	PCCS三属性	有彩色と無彩色、色相・明度・彩度を理解する		
3	PCCSトーン	トーンについて理解する		
4	過去問 PCCS色の表示、PCCS色立体	過去問を一通り解いてみる 色の表示方法について理解する 色立体の考え方を理解する		
5	小テスト	三属性、色立体、色名、トーン名の確認		
6	照明と色の見え方 三原色と混色	照明による効果と色の見え方を理解する 加法混色の三原色と減法混色の三原色を理解する 加法混色と減法混色について理解する		
7	色彩心理 色彩感情と色のイメージ	色から連想されるもの、受けるイメージについて理解する		
8	色対比	色の対比について理解する		
9	配色①、②	色相配色について理解する （同一色相・隣接色相・類似色相・中差色相・対照色相・補色色相） トーン配色について理解する （同一トーン・類似トーン・対照トーン）		
10	配色③	明度配色、彩度配色について理解する アクセントカラー・セパレーションカラー・グラデーションについて理解する		
11	眼の仕組み	眼の仕組みについて理解する		
12	前期末試験	試験・解説		

13	前期の復習	前期授業内容の確認		
14	ファッションの色彩	ファッション色彩(流行色・嗜好色等)について理解する		
15	インテリアの色彩、エクステリアの色彩	インテリア、エクステリアの色彩について理解する 色彩がインテリア空間にどのような影響を与えるのか確認する		
16	過去問題①			
17	過去問題①解答解説			
18	過去問題②			
19	過去問題②解答解説			
20	過去問題③			
21	過去問題③解答解説			
22	検定問題の解説			
23	インテリアにおける色彩計画	色彩がインテリア空間にどのような影響を与えるのか確認する		
24	後期末試験			
25～ 30	最終課題作成	テーマに沿った課題を作成。		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
色彩検定公式テキスト3級 配布プリント カラーカード		出席率 期末試験	20.0% 80.0%	

科 目 名		学科／学年	年度／時期	授業形態	
MAC演習		トータルインテリア学科／1年	2025／通年	演習	
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員	
90分	30回	0単位（60時間）	必須	鈴木 友里恵	
授 業 の 概 要					
Macの基本操作や設定について学ぶ。 レイアウトデザインの基本技術を習得。					
授業終了時の到達目標					
・MacOSの基本操作を習得する。 ・Illustrator及びPhotoshopの基本操作を習得する。 ・Illustrator及びPhotoshopを使用して、プレゼンボードを制作できる。					
実務経験有無		実務経験内容			
有	ウェディング専門の写真館に3年勤務（人物撮影が主）。デザイン会社でグラフィックディレクター・フォトグラファーとして7年勤務。合同会社higotoを立ち上げ、代表社員・アートディレクター・フォトグラファーとして実務経験あり。				
時間外に必要な学修					
・次回の授業内容を踏まえて、提示課題を用いた予習を行う ・ジャンル問わずさまざまなデザインに触れ、表現方法や意図について興味を持ったり、考察する。					
回	テ ー マ		内 容		
1	Illustrator及びPhotoshopの基本操作		作品例の紹介及び基本的なソフトの使い方、拡張子やデータの大きさについて		
2	Illustrator①図形や線を描く		新規ドキュメントからイラスト制作を行い保存までについて（図形やペンツールを使用）		
3	Illustrator②文字を学ぶ		文字入力の仕方や適切なポイント数・文字詰め・色・アウトライン化について		
4	Photoshop①写真加工		レタッチの基本		
5	Photoshop②写真加工		写真の切り抜き方法や画像の保存形式について		
6	Illustrator③その他の機能		切り抜きした画像をIllustratorで配置したり、クリッピングマスクの方法について		
7	Illustrator④その他の機能		整列やスウォッチを使って作業効率をあげる		
8	Illustrator⑤確認課題A		IllustratorとPhotoshopを使って、切り抜きや配置ができるか確認する		
9	Photoshop③写真加工		消しゴムツールや足りない画像の加工方法について		
10	Photoshop④写真加工		写真を使用した合成方法		
11	Photoshop⑤写真加工		Photoshop制作上の注意点や解像度、保存について		
12	Illustrator⑥制作～入稿確認		制作の流れやデータのまとめ方について（制作の組み立て法、パッケージ、データサイズ、拡張子）		
13～17	コンセプトボードをつくろう		トンボ・塗りたし・文字のアウトライン化・リンク・作品の撮影など		
18～21	ポートフォリオ制作①コンセプト		ポートフォリオのコンセプトについて		
22～25	ポートフォリオ制作②レイアウト作成		ロゴの作り方・レイアウト方法・写真撮影・画像の配置とリンクについて		
26～30	ポートフォリオ制作③完成		ポートフォリオ完成に向けて制作を行う		
教科書・教材			評価基準	評価率	その他
			課題・レポート	70.0%	
			授業態度	20.0%	
			出席率	10.0%	

科 目 名		学科／学年	年度／時期	授業形態	
インテリア製図		トータルインテリア学科／1年	2025／前期	演習	
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員	
90分	12回	0単位（24時間）	必須	上妻 竜	
授 業 の 概 要					
製図の道具の使い方や製図の書き方の基礎を習得しながら図面を仕上げていく					
授業終了時の到達目標					
部材の書き分けを理解し、美しい線が書けるようになる 図面に必要な表示記号、平面図、展開図が書けるようになる インテリア設計士持込用の図面を作成できる					
実務経験有無		実務経験内容			
有		ハウスメーカー、設備関連会社に従事 現場での実体験をもとに実務に沿った教育を行う			
時間外に必要な学修					
平行定規、三角定規等を使って繰り返し練習（予習・復習の実施） より多くの図面を見て、読み解く					
回	テ ー マ		内 容		
1	製図とは 三角スケールの使い方		製図の基本的知識 道具の使い方、線の書き方		
2	線の練習		線の練習 線の書き方、平行定規の使い方、定規の使い方		
3	線の練習		課題製作、提出		
4	表示記号		表示記号の書き方 扉、窓、仕上げ、材質の下書きとペン入れ		
5	表示記号		課題製作、提出		
6～ 12	インテリア設計士用図面作成		課題を読む エスキス 作図		
教科書・教材			評価基準	評価率	その他
インテリア設計士 実技編			出席率 課題・レポート 授業態度	20.0% 60.0% 20.0%	

科 目 名		学科／学年	年度／時期	授業形態	
IC基礎演習Ⅱ		トータルインテリア学科／1年	2025／前期	演習	
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員	
90分	18回	0単位（36時間）	必須	鵜籠 麻美	
授 業 の 概 要					
インテリア設計士の図面課題を中心に演習することにより、平面図、展開図、家具詳細図などの作図方法を習得する					
授業終了時の到達目標					
インテリア設計士実技試験合格					
実務経験有無		実務経験内容			
有		建築士・インテリアコーディネーターとして住宅・店舗の設計及びコーディネート 建築士試験 学科・製図 社会人講座講師			
時間外に必要な学修					
平行定規、三角定規等を使って繰り返し練習（予習・復習の実施） より多くの図面を見て、読み解く					
回	テ ー マ		内 容		
1	オリエンテーション 作図方法の確認		インテリア設計士実技課題の傾向と対策 （先輩の優秀作品より）		
2～3	平面図		平面図の作図（トレース）		
4～5	展開図		展開図の作図（トレース）		
6～7	家具図		家具図の作図（トレース）		
8～12	過去問トレース 今年度課題作図		エスキスからプラン～作図まで（パース含む）		
13～18	課題製作		プランニング演習の作図		
教科書・教材			評価基準	評価率	その他
インテリア設計士テキスト 実技編 配布プリント			出席率 課題・レポート 授業態度	5.0% 90.0% 5.0%	

科 目 名		学科／学年	年度／時期	授業形態
総合デザインⅠ		トータルインテリア学科／1年	2025／前期	演習
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	12回	0単位（24時間）	必須	鵜籠 中田 正木
授 業 の 概 要				
トータルインテリア学科1，2年生を混成の班に分け、コンセプトワーク、プラン、プレゼンという過程を経て制作物を作成する能力を養う				
授業終了時の到達目標				
1，2年で協力しクオリティの高い制作物を作る 2年生はコンセプトワークや作業の手順等を伝えとともに1年生の「良さ」を引き出し成果物に反映させる				
実務経験有無		実務経験内容		
有	建築士・インテリアコーディネーターとして住宅・店舗の設計及びコーディネート 現場での実体験をもとに実務に沿った教育を行う			
時間外に必要な学修				
物事を柔軟に捉えることができるよう習慣づける 実物の材料を見て触って知識を具体化し定着させる				
回	テ ー マ		内 容	
1	班分け 課題発表①		班分けを発表し、アイスブレイク 課題発表 スケジュール発表 コンセプトワーク、エスキス、プラン	
2～4	プレゼン 制作		各班のプランをプレゼン 制作（全員）	
5～ 11	課題発表②		課題発表 スケジュール発表 コンセプトワーク、エスキス、プラン 企画プレゼン（教員了承後）	
12	完成プレゼン		完成プレゼンテーションを行う	
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
デザイン系雑誌全般		出席率 授業態度 実習・実技評価	30.0% 30.0% 40.0%	

科 目 名		学科／学年	年度／時期	授業形態
総合デザインⅡ		トータルインテリア学科／1年	2025／後期	演習
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	12回	0単位（24時間）	必須	鵜籠 中田 正木
授 業 の 概 要				
学年の枠を超えたグループでの取り組みを行うことにより、コミュニケーション能力と人間力を養う 与えられた空間・予算内で常に新しい表現で感動を与えるモノを作る				
授業終了時の到達目標				
グループ制作を通して企画・制作・発表を行う中で積極的に人間関係を構築し、社会性や自主性を養い自己表現することが出来る 空間トータルデザインを考える				
実務経験有無		実務経験内容		
有		建築士・インテリアコーディネーターとして住宅・店舗の設計及びコーディネート 現場での実体験をもとに実務に沿った教育を行う		
時間外に必要な学修				
物事を柔軟に捉えることができるよう習慣づける 実物の材料を見て触って知識を具体化し定着させる				
回	テ ー マ		内 容	
1	グループ顔合わせ 目標設定 課題発表①		頭の柔軟体操 半期の目標設定	
2～ 6	プランニング プレゼン 制作		テーマに沿った企画を考え意見交換を行いまとめる ※予算の感覚を身に付ける	
7	課題発表②		企画・提案 展示方法・学科としてできることについて	
8	プレゼンテーション		企画発表	
9～ 12	制作		素材、制作方法について話し合い・試作をしながら進める	
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
デザイン系雑誌全般		出席率 授業態度 実習・実技評価	30.0% 30.0% 40.0%	

科 目 名		学科／学年	年度／時期	授業形態	
スペースデザイン演習Ⅰ		トータルインテリア学科／1年	2025／後期	演習	
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員	
90分	15回	0単位（30時間）	必須	鵜籠 麻美	
授 業 の 概 要					
習得してきた知識と技術を活かして、実在空間についてプランから制作及び設営まで手順を理解する 様々な課題を通してスケール感や空間構成能力を養う					
授業終了時の到達目標					
クラス全員のグループ制作と捉え、各自の役割を理解し、責任を持って計画的に作業を遂行することで、完成度の高い空間づくりができるようになる					
実務経験有無		実務経験内容			
有	建築士・インテリアコーディネーターとして住宅・店舗の設計及びコーディネート 現場での実体験をもとに実務に沿った教育を行う				
時間外に必要な学修					
物事を柔軟に捉えることができるよう習慣づける 実物の材料を見て触って知識を具体化し定着させる					
回	テ ー マ		内 容		
1～ 2	名作椅子の模型製作①		選択 図面制作		
3～ 5	名作椅子の模型製作②		模型制作		
6	プレゼンテーション				
7	6階ミニディスプレイの提案①		出題 実測		
8～ 11	6階ミニディスプレイの提案②		エスキス～図面・模型		
12	プレゼンテーション				
13～ 15	実制作		制作手順を考えてクオリティ高い作品に仕上げる		
教科書・教材			評価基準	評価率	その他
デザイン系雑誌全般			出席率 課題・レポート 授業態度	30.0% 50.0% 20.0%	

科 目 名		学科／学年	年度／時期	授業形態
パース演習		トータルインテリア学科／1年	2025／通年	演習
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	36回	0単位（72時間）	必須	川崎 耕平
授 業 の 概 要				
完成予想図の表現方法を学ぶ パースの描き方を習得する				
授業終了時の到達目標				
インテリアデザインにおける透視図法（1点透視・2点透視）の技術習得 室内表現（家具・小物）、人物クロッキーの技術習得				
実務経験有無		実務経験内容		
有		RC造の現場管理を10年、木造と鉄骨造の現場管理を12年経験。リフォーム工事、大規模改修工事も経験あり。手書きのパースを普段の業務で使用。		
時間外に必要な学修				
回	テ ー マ		内 容	
1	自室の作図		現状での技術で制作、確認	
2～ 3	パースの基本		透視図について（1点透視・2点透視・3点透視）	
4～ 5	パースの基本		小物のパース 家具のパース	
6～ 7	パースの基本		インテリア空間	
8～ 10	パースの基本		インテリア空間（1消点パースグリッド） 楕円の復習	
11～ 24	インテリア設計士課題		インテリア設計士対策（過去問題課題、今年の問題課題）	
25～ 30	課題制作			
31	パースの応用①		さまざまな空間の作成（1消点）	
32～ 33	パースの応用②		さまざまな空間の作成（1消点）	
34～ 36	修了制作のパース制作		各自修了制作に取り組む	
教科書・教材		評価基準		評価率
		出席率 授業態度 課題・レポート 実習・実技評価		10.0% 10.0% 40.0% 40.0%
				その他

科 目 名		学科／学年	年度／時期	授業形態
CAD演習		トータルインテリア学科／1年	2025／後期	演習
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	24回	0単位（48時間）	必須	川崎 耕平
授 業 の 概 要				
JWWの基本操作の習得				
授業終了時の到達目標				
JWWを使いこなし、作図できる				
実務経験有無		実務経験内容		
有		RC造の現場管理を10年、木造と鉄骨造の現場管理を12年経験。リフォーム工事、大規模改修工事も経験あり。施工図、納まり図、工程表などをCADにて作成。		
時間外に必要な学修				
回	テ ー マ	内 容		
1	オリエンテーション			
2	JWWとは	JWWについて インストール		
3	設定	標準設定		
4～6	基本操作	左右のクリックの違い 拡大・縮小・移動、ドラッグなど		
7	コマンド①	線コマンド		
8	コマンド②	円コマンド		
9	コマンド③	文字・寸法コマンド		
10	コマンド④	消去コマンド		
11	コマンド⑤	移動・複写コマンド		
12	コマンド⑥	伸縮・コーナーコマンド		
13	コマンド⑦	複線コマンド		
14	コマンド⑧	ハッチ・図形コマンド		
15～16	寸法の決まった図をかく①②	簡単な図形の作図		
17	図形を開き、加筆・印刷しよう①②	図形ファイルからの作図		

回	テ　　マ	内　　　容		
19～ 24	課題制作			
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
はじめて学ぶJW_CAD(エクスナレッジムック)		出席率 授業態度 課題・レポート	10.0% 20.0% 70.0%	

科 目 名		学科／学年	年度／時期	授業形態
IC基礎 I		トータルインテリア学科／1年	2025／通年	講義
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	24回	0単位（48時間）	必須	正木 香奈
授 業 の 概 要				
幅広い知識を身につけるため、1コマ1コマ盛り沢山の内容となっており、すぐに実践に生かせるように学習する				
授業終了時の到達目標				
専門的用語を理解し、インテリア設計士に合格				
実務経験有無		実務経験内容		
有		フリーランスのインテリアコーディネーターとして、22年間従事 経験を活かして実務に沿った教育を行う		
時間外に必要な学修				
専門用語(用語辞典の活用)を早く習得する 実物の材料を見て触って知識を具体化し定着させる				
回	テ ー マ	内 容		
1	カーテンとレールについて	カーテンの種類・特徴・部分名称やレールの種類・部品・施工方法を理解する		
2	カーテンスタイルやローマンシェード・その他の窓装飾について	スタイル・ローマンシェード・ブラインド・ロールスクリーンの種類・特徴を理解する		
3	カーテンプランの作り方	今まで学習してきたことを踏まえて、カーテンプランの作り方を理解する		
4	カーテンプランの仕上	今まで学習してきたことを踏まえて、カーテンプランを仕上げる		
5	カーテンプランの仕上	今まで学習してきたことを踏まえて、カーテンプランを仕上げる		
6	カーテンプランの仕上	今まで学習してきたことを踏まえて、カーテンプランを仕上げる		
7	光の種類や照明ランプについて	光の区別・単位・ランプの種類と特徴を理解する		
8	照明器具について	照明器具の種類と特徴を理解する		
9	照明プランの作り方	今まで学習してきたことを踏まえて、照明プランの作り方を理解する		
10	照明プランの仕上	今まで学習してきたことを踏まえて、照明プランを仕上げる		
11	照明プランの仕上	今まで学習してきたことを踏まえて、照明プランを仕上げる		
12	前期試験	前期試験の実施と授業の振り返り		
13	家具について	イスについて理解する		
14	家具について	机について理解する		

回	テ　　マ	内　　　容		
15	木造の基礎について	木造の基礎や地業について理解する		
16	木造の構造について	木造の軸組について理解する		
17	木造の壁体・開口部について	木造の筋かい・開口部について理解する		
18	木造の接合について	木造の継手仕口・接合金物について理解する		
19	床の下地と仕上材について	床の下地・仕上材について理解する		
20	壁の下地と仕上材について	壁の下地・仕上材について理解する		
21	天井・屋根の下地と仕上材について	各部の下地・仕上材について理解する		
22	寝具(ベッド)について	睡眠とベッド [®] の関係・構造について理解する		
23	寝具(リネン)について	リネンの種類・ベッドスプレッドについて理解する		
24	後期試験	後期試験の実施と授業の振り返り		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
インテリアコーディネーター合格教本 インテリア設計士テキスト		出席率 授業態度 課題・レポート 期末試験	40.0% 10.0% 10.0% 40.0%	

科 目 名		学科／学年	年度／時期	授業形態
IC基礎Ⅱ		トータルインテリア学科／1年	2025／通年	講義
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	24回	0単位（48時間）	必須	正木 香奈
授 業 の 概 要				
幅広い知識を身につけるため、1コマ1コマ盛り沢山の内容となっており、すぐに実践に生かせるように学習する				
授業終了時の到達目標				
専門的用語を理解し、インテリア設計士に合格				
実務経験有無		実務経験内容		
有		フリーランスのインテリアコーディネーターとして、22年間従事 経験を活かして実務に沿った教育を行う		
時間外に必要な学修				
次回の授業内容を踏まえて、提示課題を用いた予習を行う				
回	テ ー マ		内 容	
1	人間工学の定義について		人間工学と人体寸法の基礎を理解しよう	
2	人体寸法の略算値		人体の大きさと重さ、作業域について理解しよう	
3	人間の行動特性について		ポピュレーションステレオタイプの意味について理解しよう	
4	人間工学的な家具①		快適な椅子の条件を理解しよう	
5	人間工学的な家具②		机の高さの求め方、ベッドの寸法を理解しよう	
6	人間工学的な家具③		マットレスについて理解しよう	
7	人間工学的な家具④		寝具について理解しよう	
8	空間の配置と規模の検討①		建築設計の高さ方向の寸法を理解しよう	
9	空間の配置と規模の検討②		住宅の平面寸法を理解しよう	
10	空間の配置と規模の検討③		動線計画を理解しよう	
11	前期試験前のまとめ		小テストの実施と解説	
12	前期試験		前期試験の実施と授業の振り返り	
13	モデューラーコーディネーションについて①		モデューラーコーディネーション、モジュールについて理解しよう	
14	モデューラーコーディネーションについて②		グリッド、畳の寸法について理解しよう	

回	テ ー マ	内 容		
15	生活場面の構成①	LDKについて理解しよう		
16	生活場面の構成②	L、D、Kそれぞれについて理解しよう		
17	バリアフリー①	バリアフリーとユニバーサルデザインについて理解しよう		
18	バリアフリー②	高齢者に対するインテリア計画の配慮点について理解しよう		
19	バリアフリー③	車椅子の寸法と動作空間について理解しよう		
20	バリアフリー④	バリアフリー計画（エクステリア・玄関）について理解しよう		
21	バリアフリー⑤	バリアフリー計画（廊下・階段・浴室）について理解しよう		
22	リフォーム	リフォームの意義と種類について理解しよう		
23	後期試験前のまとめ	小テストの実施と解説		
24	後期試験	後期試験の実施と授業の振り返り		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
インテリアコーディネーター合格教本 インテリア設計士テキスト		出席率 授業態度 課題・レポート 期末試験	40.0% 10.0% 10.0% 40.0%	

科 目 名		学科／学年	年度／時期	授業形態
IC基礎演習 I		トータルインテリア学科／1年	2025／前期	演習
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	18回	0単位（36時間）	必須	正木 香奈
授 業 の 概 要				
・ インテリア設計士学科試験の試験対策 ・ インテリアデザインに関する基礎知識の習得				
授業終了時の到達目標				
インテリア設計士学科試験合格				
実務経験有無		実務経験内容		
有	フリーランスのインテリアコーディネーターとして、22年間従事 経験を活かして実務に沿った教育を行う			
時間外に必要な学修				
次回の授業内容を踏まえて、提示課題を用いた予習を行う				
回	テ ー マ		内 容	
1	インテリア設計士試験について インテリアデザイン論		インテリアデザインとインテリア設計士についての確認をし、空間構成及び住宅とインテリアについて理解する	
2	材料		木材、突板について	
3	材料		木質系材料について	
4	材料		石材、ガラスについて	
5	材料		石材、ガラスについてタイル、レンガ、金属材料について	
6	材料		タイル、レンガ、金属材料についてプラスチック、塗料・塗装について	
7～8	材料まとめ		プラスチック、塗料・塗装について	
9	構造・生産		建築の構造①	
10	過去問題			
11～12	構造・生産		室内造作と各部の名称 インテリアの構法	
13～14	法規・法令		インテリア設計関連法規・法令	
15	インテリアデザイン基礎		形と空間構成、色彩・表現方法	
16	インテリアデザイン基礎		形と空間構成、色彩・表現方法	
17	まとめ			

回	テ ー マ	内 容		
18	前期試験	前期試験の実施と授業の振り返り		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
インテリア設計士テキスト 学科編		出席率	40.0%	
インテリア設計士テキスト 実技編		授業態度	10.0%	
インテリアコーディネーターハンドブック 〈下〉		課題・レポート	10.0%	
		期末試験	40.0%	

科 目 名		学科／学年	年度／時期	授業形態
作品展示計画Ⅱ		トータルインテリア学科／2年	2025／後期	演習
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	12回	0単位（24時間）	必須	鵜籠麻美
授 業 の 概 要				
各自オリジナルなプレゼンテーションを行う為の準備 様々なアイデアでデザイン展を盛り上げる				
授業終了時の到達目標				
限られた時間で、自分自身の考えを相手に伝えるプレゼンテーションが出来るようになる 制作を通して、協調性・積極性等の人間力を身につける				
実務経験有無	実務経験内容			
有	建築士として8年の実務経験 経験を活かし実務に沿った教育を行う			
時間外に必要な学修				
回	テ ー マ	内 容		
1～6	卒業制作の制作			
7～8	プレゼン練習			
9	プレゼン			
10～12	デザイン展制作／設営	デザイン展'26		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
		出席率 授業態度 課題・レポート	10.0% 40.0% 50.0%	

科 目 名		学科／学年	年度／時期	授業形態
社会人基礎講座Ⅲ		トータルインテリア学科／2年	2025／後期	講義
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	12回	0単位（24時間）	必須	松尾誠司
授 業 の 概 要				
実践を通してコミュニケーション能力を上げる 就職活動の進め方を確認し、個人ガイダンスを実施する				
授業終了時の到達目標				
企業が求める社会性とコミュニケーション能力を持つ人材となり早期内定を目指す 明確な目標を設定し、達成に向けてのプロセスを考えることができるようになる				
実務経験有無	実務経験内容			
無				
時間外に必要な学修				
回	テ ー マ	内 容		
1	目標設定	グループでコミュニケーション クラス目標、個人目標の設定		
2	オリエンテーション	コミュニケーションの定義 「話すこと」「聞くこと」		
3	就活用書類作成	Excel、Wordの復習 就活用書類の作成		
4～ 7	ディスカッション	テーマに沿ってグループディスカッション ・社会人（新卒）とは ・働くとは ・夢 ・コンセプトとは		
8～ 9	一般常識問題	グループで一般常識問題にチャレンジ		
10～ 11	コミュニケーションの応用	プレゼンテーション		
12	目標設定			
12		評価基準	評価率	その他
コミュニケーション技法		出席率 授業態度 課題・レポート	30.0% 20.0% 50.0%	【準備学習】 次回の授業内容を 踏まえて、内容に 沿って予習を行 う。

科 目 名		学科／学年	年度／時期	授業形態
社会人基礎講座Ⅱ		トータルインテリア学科／2年	2025／前	講義
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	15回	1単位（30時間）	必須	松尾誠司
授 業 の 概 要				
自己理解・表現力・社会理解を深める授業を実施する。プレゼンテーション、ディベート、グループディスカッションを通して、実践的な表現力や論理的思考力を養い、また給与明細の読み方や社会人として働くことの意味についても理解を深める。				
授業終了時の到達目標				
・就職活動に必要な自己理解を深め、自身の強み・課題が明確になっている。 ・プレゼンやディスカッションを通じて、自己表現力・論理的思考力・対話力が向上している。 ・給与明細の理解や「働くこと」への意識を高め、社会人としての基礎的な知識と心構えが身についている。				
実務経験有無	実務経験内容			
無				
時間外に必要な学修				
・自己分析の継続（適性検査・経験の振り返り） ・プレゼン・面接練習（録画や原稿作成） ・時事問題の調査と意見整理				
回	テ ー マ	内 容		
1	「就職活動の世界」を知るその1	以下、グループと全体で確認と共有。 ・就活の心構え ・就活の目的と目標		
2	「就職活動の世界」を知るその2	以下、グループと全体で確認と共有。 コンピテンシーチェックを振り返る（何を伸ばし、何を補うか。自覚を促す）		
3	プレゼンテーション①	テーマを決め、3分程度でプレゼンテーションを行う。		
4	プレゼンテーション②	自分のPRポイントをまとめ、セルフプレゼンテーションを行う。		
5	プレゼンテーション③	気になった時事問題を調べ、プレゼンテーションを行う。		
6	ディベート練習①	二つのグループに分かれ、テーマに基づいてディベートを行う。		
7	ディベート練習②	二つのグループに分かれ、テーマに基づいてディベートを行う。		
8	グループディスカッション①	テーマについてグループで話し合い、意見をまとめてプレゼンテーションを行う。		
9	グループディスカッション②	テーマについてグループで話し合い、意見をまとめてプレゼンテーションを行う。		
10	給与明細の見方①	給与明細の様々な項目について確認する。		
11	給与明細の見方②	給与明細の様々な項目について確認する。		
12	働くことについて考える	社会人として働くことの意味、学生時代との違いをグループで話し合い、意見交換する。		
13～15	課題	β		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
		課題・レポート	100.0%	

科 目 名		学科／学年	年度／時期	授業形態	
3 D C G演習		トータルインテリア学科／2年	2025／通年	演習	
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員	
90分	48回	0単位（96時間）	必須	鵜籠 中田	
授 業 の 概 要					
VectorWorksを使用して設計図を3次元化しプレゼンテーションの幅を広げる為の技術を養う Illustrator/Photoshopを応用しプレゼンテーションボード作成方法を理解する					
授業終了時の到達目標					
3次元CADのスキルを身につけることにより、設計における空間把握能力を高め、作品の質の向上を目指す パソコンを使ってプレゼンテーションボードを制作することで、更に表現力を身に付け質の高いプレゼンテーションができる					
実務経験有無		実務経験内容			
有	建築士・インテリアコーディネーターとして住宅・店舗の設計及びコーディネート 現場での実体験をもとに実務に沿った教育を行う				
時間外に必要な学修					
パソコンを使用する癖をつける 繰り返し作業をする事により知識・技術の幅を広げる					
回	テ ー マ		内 容		
1	3DCGとは		授業内容の説明、ソフトの説明 ソフトのインストールについて		
2	Illustrator,Photoshopの復習		テーマに沿ったポストカード作成		
3	Vector Works基礎Ⅰ		画面と各部名称 各種設定（環境設定、ファイル設定、用紙設定）		
4	Vector Works基礎Ⅱ		基本操作、レイヤの設定と縮尺		
5～6	Vector Works基礎Ⅲ		2D作図の基本		
7～8	3次元基礎Ⅰ		3Dモデリングの基本 （柱状体、多段柱状体、回転体、3Dパス図形）		
9～10	3次元基礎Ⅱ		柱、壁、床、窓の作成		
11～12	3次元基礎Ⅲ		躯体のモデリング		
13～14	3次元基礎Ⅳ		レンダリングとテクスチャ		
15～18	3次元応用Ⅰ		前期演習課題の3D制作		
19～20	プレゼンボードについて①		Illustrator,Photoshopの復習		
21～22	プレゼンボードについて②		プレゼンボードの制作方法		
23～24	実技試験		まとめ		
25～30	課題製作		プレゼンボード制作		
30～33	ポスターコンペにチャレンジ		Illustrator,Photoshopの応用		
34～37	3次元応用Ⅱ		家具の作図（※選択課題）		
38～43	3次元応用Ⅲ		戸建住宅の作図（※選択課題）		
44～60	PC技術の総まとめ		※選択課題		
教科書・教材			評価基準	評価率	その他
VECTORWORKSパーフェクトバイブル 2023/2022対応			出席率 課題・レポート 授業態度 期末試験	30.0% 20.0% 10.0% 40.0%	

科 目 名		学科／学年	年度／時期	授業形態
IC販売		トータルインテリア学科／2年	2025／前期	講義
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	15回	0単位（30時間）	必須	鵜籠 麻美
授 業 の 概 要				
インテリアコーディネーターの仕事の参考に流通や販売について再認識し、商品やサービスの販売に関する基礎知識を学習する				
授業終了時の到達目標				
働く上での一般常識を理解し、余裕のある社会人生活をスタートするための知識・技術習得				
実務経験有無		実務経験内容		
有		建築士・インテリアコーディネーターとして住宅・店舗の設計及びコーディネート現場での実体験をもとに実務に沿った教育を行う		
時間外に必要な学修				
専門用語（用語辞典の活用）を早く習得する 繰り返し作業をする事により知識・技術の幅を広げる				
回	テ ー マ		内 容	
1	住宅の供給と政策		日本の住宅とインテリアについて理解し、これからの住宅について確認をする	
2	環境問題と住宅		住宅に関わる環境問題について理解する	
3	職能と仕事		建築・インテリア業界の実務について理解する	
4～5	見積書について		見積書の見方を理解し、実際に練習問題を通して確認する	
6	マーケティングの諸活動		専門用語を理解し、市場の仕組みについて確認する	
7～10	実践課題「部屋のコーディネート」		予算を踏まえ、実践に近い提案の仕方について理解し、クライアントを想定した見積書、プランニングボードを作成する	
11	プレゼンテーション		説得力あるプレゼンテーションについて理解する	
12	期末試験		まとめ	
13～15	課題製作		リアリティのある作品に仕上げる	
教科書・教材			評価基準	評価率
インテリアコーディネーター合格教本 上巻 世界で一番やさしいインテリア			出席率 課題・レポート 授業態度 期末試験	30.0% 10.0% 20.0% 40.0%
				その他

作成者:寒川 恵太

科 目 名		学科／学年	年度／時期	授業形態
コンペ演習		トータルインテリア学科／2年	2025／前期	演習
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	15回	0単位（30時間）	必須	寒川 恵太
授 業 の 概 要				
様々なコンペに応募することにより、クライアントを設定した制作及び期限をふまえた実践的な制作態度を身につける				
授業終了時の到達目標				
コンセプトワークを自分のものにし、更にプレゼンボードのスキルをあげる 各自1回以上の受賞を目指す 外部に評価をしてもらう事で自信となり就職活動に役立てる				
実務経験有無		実務経験内容		
有		大型商業施設の商環境デザイン、住宅・店舗の設計の経験を活かした教育を行う。		
時間外に必要な学修				
実在する空間を数多く見て、使って研究する なぜそうなのか、常に理由を考える癖をつける				
回	テ ー マ		内 容	
1	オリエンテーション		様々なコンペにおいての入賞作品をみてみよう	
2～15	コンペ作品制作 適宜コンペ作品制作 ※詳細後日発表		課題説明 コンセプトワーク 必要図面等作成 プレゼンボード制作	
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
建築・インテリア系雑誌全般		出席率 授業態度 課題・レポート	50.0% 10.0% 40.0%	

科 目 名		学科／学年	年度／時期	授業形態	
スペースデザイン演習Ⅱ		トータルインテリア学科／2年	2025／後期	演習	
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員	
90分	30回	0単位（60時間）	必須	鵜籠 麻美	
授 業 の 概 要					
2年間の集大成として、あらゆる科目で習得してきた知識と技術を活かして、実在空間についてプランから制作及び設営まで行う技術を養う クラス全員のグループ制作と捉え、各自の役割を理解し、責任を持って計画的に作業を遂行することで、完成度の高い空間づくりについて理解する					
授業終了時の到達目標					
自分で考え、グループを動かし、クライアントに求められている実際の空間を作り上げることができるようになる					
実務経験有無		実務経験内容			
有		建築士・インテリアコーディネーターとして住宅・店舗の設計及びコーディネート現場での実体験をもとに実務に沿った教育を行う			
時間外に必要な学修					
実在する空間を数多く見て、使って研究する なぜそうなのか、常に理由を考える癖をつける					
回	テ ー マ		内 容		
1～2	スペースデザイン		グループ製作 コンセプトワークについて確認する 発想力体操 カフェ制作 オリエンテーション		
3～11	スペースデザイン 課題A「モデルルームコーディネート」		オリエンテーション コンセプトメイキング 内装コーディネート コーディネートボード作成		
12	プレゼンテーション				
13～23	スペースデザインB「〇〇の提案」		グループ製作 コンセプトをカタチに落とし込む能力を養う 創造力を身につける		
24	プレゼンテーション				
25～30	実製作				
教科書・教材			評価基準	評価率	その他
建築・インテリア系雑誌			出席率 課題・レポート 授業態度	40.0% 40.0% 20.0%	

作成者: 鵜籠 麻美

科 目 名		学科／学年	年度／時期	授業形態
総合デザインⅢ		トータルインテリア学科／2年	2025／前期	演習
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	12回	0単位（24時間）	必須	鵜籠 中田 正木
授 業 の 概 要				
トータルインテリア学科1, 2年生を混成の班に分け、コンセプトワーク、プラン、プレゼンという過程を経て制作物を作成する能力を養う				
授業終了時の到達目標				
1, 2年で協力しクオリティの高い制作物を作る 2年生はコンセプトワークや作業の手順等を伝えとともに1年生の「良さ」を引き出し成果物に反映させる				
実務経験有無		実務経験内容		
有	建築士・インテリアコーディネーターとして住宅・店舗の設計及びコーディネート現場での実体験をもとに実務に沿った教育を行う			
時間外に必要な学修				
物事を柔軟に捉えることができるよう習慣づける 実物の材料を見て触って知識を具体化し定着させる				
回	テ ー マ		内 容	
1	班分け 課題発表①		班分けを発表し、アイスブレイク 課題発表 スケジュール発表 コンセプトワーク、エスキス、プラン	
2～4	プレゼン 制作		各班のプランをプレゼン 制作（全員）	
5～ 11	課題発表②		課題発表 スケジュール発表 コンセプトワーク、エスキス、プラン 企画プレゼン（教員了承後）	
12	完成プレゼン		完成プレゼンテーションを行う	
教科書・教材			評価基準	評価率
デザイン系雑誌全般			出席率 授業態度 実習・実技評価	30.0% 30.0% 40.0%
				その他

科 目 名		学科／学年	年度／時期	授業形態	
総合デザインⅣ		トータルインテリア学科／2年	2025／後期	演習	
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員	
90分	12回	0単位（24時間）	必須	鵜籠 中田 正木	
授 業 の 概 要					
学年の枠を超えたグループでの取り組みを行うことにより、コミュニケーション能力と人間力を養う 与えられた空間・予算内で常に新しい表現で感動を与えるモノを作る					
授業終了時の到達目標					
グループ制作を通して企画・制作・発表を行う中で積極的に人間関係を構築し、社会性や自主性を養い自己表現することが出来る 空間トータルデザインを考える					
実務経験有無		実務経験内容			
有		建築士・インテリアコーディネーターとして住宅・店舗の設計及びコーディネート 現場での実体験をもとに実務に沿った教育を行う			
時間外に必要な学修					
物事を柔軟に捉えることができるよう習慣づける 実物の材料を見て触って知識を具体化し定着させる					
回	テ ー マ		内 容		
1	グループ顔合わせ 目標設定 課題発表①		頭の柔軟体操 半期の目標設定		
2～ 6	プランニング プレゼン 制作		テーマに沿った企画を考え意見交換を行いまとめる ※予算の感覚を身に付ける		
7	課題発表②		企画・提案 展示方法・学科としてできることについて		
8	プレゼンテーション		企画発表		
9～ 12	制作		素材、制作方法について話し合い・試作をしながら進める		
教科書・教材			評価基準	評価率	その他
デザイン系雑誌全般			出席率 授業態度 実習・実技評価	30.0% 30.0% 40.0%	

科 目 名		学科／学年	年度／時期	授業形態
家具技能演習		2学科／年	2025／通年	演習
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	48回	0単位（96時間）	選択	生島 直樹
授 業 の 概 要				
年間を通して家具手加工実技製作を学ぶ				
授業終了時の到達目標				
家具手加工技能検定 3 級の合格を目指す				
実務経験有無		実務経験内容		
有		木工所経営者 技能検定建具手加工1級, 家具手加工1級取得		
時間外に必要な学修				
回	テ ー マ		内 容	
1～4	技能検定について		製作課題の説明、原寸図面の作成	
5～10	手道具について 取り扱いの説明		手道具の説明、加工方法の説明、実技見本 各自加工にとりかかる	
11～20	各ヵ所の加工説明 道具の使い方説明		4ヵ所の加工の手順説明、それぞれの加工を進めていく 道具の調整、刃物砥ぎ方指導	
21～24	実技指導		4ヵ所の加工の手順説明、それぞれの加工を進めていく	
25～48	実技指導		4ヵ所の加工の手順説明、それぞれの加工を進めていく	
教科書・教材			評価基準	評価率
教材（木材）は必要に応じて購入とする			出席率 授業態度 実習・実技評価	20.0% 20.0% 60.0%
				その他

科 目 名		学科／学年	年度／時期	授業形態
家具デザイン概論		トータルインテリア学科／2年	2025／通年	講義
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	27回	0単位（54時間）	選択	安藤 隆史
授 業 の 概 要				
家具の機能・材料・構造・仕上げ等の基礎的知識を学習する				
授業終了時の到達目標				
家具の種類・特徴を理解した上で、制作計画・図面作成をし実制作に生かせるようになる				
実務経験有無		実務経験内容		
有		CNCフライス盤やレーザー加工機をはじめとするデジタルファブリケーションを主に木製品などの加工を行う		
時間外に必要な学修				
家庭学習で、家具の各部の名称と人間工学を勉強しておく				
回	テ ー マ		内 容	
1	家具の条件		機能性・耐朽性	
2	家具の条件		安全性・審美性	
3	家具の条件		形態・材質・構造	
4	家具の条件		箱物家具	
5	家具の条件		脚物家具	
6	家具の機能と寸法		人間工学と寸法	
7	家具の機能と寸法		人間工学と寸法	
8	家具の機能と寸法		用途による寸法	
9	家具の機能と寸法		用途による寸法	
10	家具の機能と寸法		材料による寸法	
11	家具の機能と寸法		場所による寸法	
12	前期末試験			
13～15	前期課題			

回	テ ー マ	内 容		
16	木材の種類	国産材・輸入材		
17	国産材・輸入材	木材の性質		
18	金具の種類と加工	棚受け金具		
19	金具の種類と加工	連結金具		
20	金具の種類と加工	連結金具		
21	家具の図面	三面図		
22	家具の図面	詳細図		
23	家具の図面	部品図		
24	工具	工具の種類		
25	工具	工具の使用法		
26	工具	工具の安全		
27	後期末試験			
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
		出席率	10.0%	
		課題・レポート	10.0%	
		授業態度	20.0%	
		期末試験	60.0%	

科 目 名		学科／学年	年度／時期	授業形態
家具デザイン演習		トータルインテリア学科／2年	2025／通年	演習
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	66回	0単位（132時間）	選択	安藤, 鶴籠
授 業 の 概 要				
家具デザイン概論で学んだ事を実制作する				
授業終了時の到達目標				
前期は家具製作の実際が理解出来るようになり 後期はそれをふまえ卒業制作を完成させる				
実務経験有無		実務経験内容		
有		CNCフライス盤やレーザー加工機をはじめとするデジタルファブリケーションを主に木製品などの加工を行う		
時間外に必要な学修				
制作の時間が不足するので空き時間を利用して制作を自主的に進める				
回	テ ー マ		内 容	
1～ 2	オリエンテーション		授業計画の告知・工房の使用方法を告知	
3～ 4	ダンボールスツール 1・2		ダンボールスツールプラン・ダンボールスツールの内容と条件を知った上で プランニングを開始する	
5～ 6	ダンボールスツール 3・4		スツールのデザイン決定、図面制作	
7～ 8	ダンボールスツール 5・6		ダンボールスツール展開図・ダンボールスツールのパーツと数量を確認、パソコン上で展開図制作	
9～ 10	ダンボールスツール 7・8		ダンボールスツール材料取り・パソコン上で展開図制作したダンボールスツールのパーツをダンボールに製図	
11～ 12	ダンボールスツール 9・10		ダンボールスツール組立て・ダンボールに材料取りしたものを切断 組み立て	
13～ 16	子供椅子 1・2		子供椅子のプランを立てる	
17～ 20	子供椅子 3・4		子供椅子の図面を書く	
21～ 30	子供椅子 5・6		子供椅子の制作をする	
31～ 36	卒業制作		卒業制作のプランを立てる	
37～ 45	卒業制作		卒業制作の図面を書く	
46～ 66	卒業制作		制作	
教科書・教材			評価基準	評価率
			出席率 課題・レポート 授業態度 実習・実技評価	10.0% 30.0% 30.0% 30.0%
				その他

科 目 名		学科／学年	年度／時期	授業形態
創造制作演習		トータルインテリア学科／2年	2025／通年	演習
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	68回	0単位（136時間）	選択	鈴木、鵜籠
授 業 の 概 要				
1年次に学習したMacの知識を活かし、さらに撮影や装飾方法について学び、アウトプットする。コンセプト設定を行い、制作物や販売計画などを立案し、店舗計画の基本を習得。企画から学生が行い、F6のディスプレイを制作する。				
授業終了時の到達目標				
・写真撮影をノウハウを習得する。 ・自分たちで店舗のコンセプトを考え、企画・制作・販売まで行う。 ・ディスプレイ企画・制作を行う。				
実務経験有無	実務経験内容			
有	ウェディング専門の写真館に3年勤務（人物撮影が主）。デザイン会社でグラフィックディレクター・フォトグラファーとして7年勤務。合同会社higotoを立ち上げ、代表社員・アートディレクター・フォトグラファーとして実務経験あり。			
時間外に必要な学修				
・次回の授業内容を踏まえて、提示課題を用いた予習を行う ・ジャンル問わずさまざまなデザインに触れ、表現方法や意図について興味を持ったり、考察する。				
回	テ ー マ	内 容		
1	カメラワーク①撮影	基本的なカメラの使い方、作品に合わせた撮影方法について		
2	カメラワーク②現像	撮影した写真の取り込み方や現像方法について		
3	カード制作	撮影した写真を用い、文字や装飾を行い、カード制作をする		
4～6	課題制作①	課題に対し、どんな写真が合うか考え、それに合う撮影を行い、文字や装飾を行い課題制作をする		
7～8	課題制作②	課題に対し、どんな写真が合うか考え、それに合う撮影を行い、文字や装飾を行い課題制作をする		
9～12	店舗企画	コンセプトを考え、販売物やPOPをはじめとした店舗企画を行う		
13～20	制作	店舗企画に沿って、制作する		
21～28	6Fオープンスペースディスプレイ案① 模型試作	テーマ・素材・配色・構成の仕方について学ぶ		
29～39	6Fオープンスペースディスプレイ作成	ディスプレイを作成		
40～44	雑貨製作			
45～49	6Fオープンスペースディスプレイ案② 模型試作	テーマ・素材・配色・構成の仕方について学ぶ		
50～68	6Fオープンスペースディスプレイ作成	ディスプレイを作成		

回	テ ー マ	内 容		
62～ 68	外部マルシェ出店計画			
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
		課題・レポート	70.0%	
		授業態度	20.0%	
		出席率	10.0%	

科 目 名		学科／学年	年度／時期	授業形態
LS概論		トータルインテリア学科／2年	2025／前	演習
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	30回	4単位（60時間）	選択	松尾 誠司
授 業 の 概 要				
リビングスタイリスト2級資格試験の合格を目指し、住生活関連産業における基礎知識と実務力を体系的に学ぶ。リビングスタイリストの職務理解に始まり、流通のしくみ、マーケティング、接客販売、店舗演出、ビジネスマナー、法規といった幅広い分野を網羅する。また、家具・照明・設備・住生活アクセサリ等に関する商品知識を深め、顧客に対する適切な提案力とアドバイスを育成する。講義形式に加え、過去問題演習を通して試験対策力を強化し、実践的な知識の定着を図る。				
授業終了時の到達目標				
・リビングスタイリストの業務内容と役割を理解し、業界内での位置づけを説明できるようになる。 ・流通・マーケティング・情報活用等の基本知識を習得し、現場で応用できる力を身につける。 ・接客販売の基本スキルやビジネスマナーを身につけることで、信頼される接客対応が可能となる。 ・住生活産業に関連する法規を理解し、適切なアドバイスができるようになる。 ・過去問題演習を通じて、2級試験合格に必要な知識と解答力を身につける。				
実務経験有無		実務経験内容		
無				
時間外に必要な学修				
授業内容の確認・復習				
回	テ ー マ	内 容		
1	リビングスタイリストの仕事	リビングスタイリストの職業理解		
2	流通	流通のしくみ小売業の役割		
3	流通	小売業の分類		
4	流通	チェーン組織 データに見る小売業		
5	情報	情報の種類		
6	情報	情報の収集		
7	情報	情報の活用		
8	マーケティング	マーケティングの基礎知識/市場調査		
9	店舗演出	店舗演出の基本		
10	接客販売	接客販売の仕事とは リビングスタイリストの基本業務		
11	接客販売	接客販売に関する事務購買心理とは 他		
12	ビジネスマナー	社会人の基本		
13	ビジネスマナー	職場の人間関係		
14	ビジネスマナー	報告・連絡・相談 他		
15	法規	住生活産業に関わる法規		
16	家具・窓装飾	家具の分類		

回	テ　　マ	内　　　容		
17	家具・窓装飾	いす　テーブル　机　収納家具		
18	家具・窓装飾	ベッド　カーテン　シェードスクリーン　他		
19	照明・設備	照明の基礎　光源　照明器具		
20	照明・設備	キッチン　バス　トイレ		
21	照明・設備	その他の設備　リフォーム		
22	住生活アクセサリ	グリーン		
23	住生活アクセサリ	テーブル		
24	住生活アクセサリ	アート　その他の雑貨		
25	過去問練習①	2022冬季		
26	過去問練習②	2023夏季		
27	過去問練習①	2023冬季		
28	過去問練習③	2024夏季		
29	過去問練習④	2024冬季		
30	期末試験			
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
1級・2級リビングスタイリスト資格試験 【公式テキスト】□		課題・レポート	40.0%	
		期末試験	60.0%	

作成者: 鵜籠 麻美

科 目 名		学科／学年	年度／時期	授業形態
コンペ演習		トータルインテリア学科／2年	2025／後期	演習
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	24回	0単位（48時間）	選択	鵜籠 麻美
授 業 の 概 要				
様々なコンペに応募することにより、クライアントを設定した制作及び期限をふまえた実施的な制作態度を身につける				
授業終了時の到達目標				
コンセプトワークを自分のものにし、更にプレゼンボードのスキルを上げる 各自1回以上の受賞を目指す 外部に評価してもらうことで自信となり就職活動の役に立てる				
実務経験内容				
有	建築士・インテリアコーディネーターとして住宅・店舗の設計及びコーディネート 現場での実体験をもとに実務に沿った教育を行う			
時間外に必要な学修				
実在する物やデザインなどを数多くみて、使って研究する なぜそうなのか、常に理由を考える癖をつける				
回	テ ー マ		内 容	
1	オリエンテーション		様々なコンペにおいて入賞作品を見てみよう	
2～24	コンペ作品制作		課題説明 コンセプトワーク プレゼンボード作成	
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
作成資料		出席率 授業態度 課題・レポート	50.0% 10.0% 40.0%	

科 目 名		学科／学年	年度／時期	授業形態
インテリア設計		トータルインテリア学科／2年	2025／通年	演習
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	89回	0単位（178時間）	選択	鵜籠 正木 上妻
授 業 の 概 要				
コンセプトワークの大切さを改めて理解する 1年次に身に付けた知識を元に与えられた設定に条件を満たす、より実践的な設計をする 自由な発想で2年間の集大成としてふさわしい作品を制作する				
授業終了時の到達目標				
他の授業で身に付けた知識・技術を全て使い2年間の集大成としてふさわしく、他人と自分自身を納得させる作品を制作できるようなる				
実務経験有無		実務経験内容		
有		建築士・インテリアコーディネーターとして住宅・店舗の設計及びコーディネート 現場での実体験をもとに実務に沿った教育を行う		
時間外に必要な学修				
実在する空間を数多く見て、使って研究する 様々な情報を集める癖をつける なぜそうなのか、常に理由を考える癖をつける				
回	テ ー マ		内 容	
1	オリエンテーション		コンセプトワークについて確認する 言葉の連想、グループ討論	
2～ 30	設計課題①マンションリフォームor 平屋住宅		課題の内容をしっかりと理解する IC専攻：マンションリフォーム 建築専攻：新築戸建住宅 コンセプトワーク、プランニング、プレゼンボード制作、模型制作、プレゼンテーションを通して設計の基礎を身に付ける	
25	オリエンテーション		課題の内容をしっかりと理解する ※詳細後日発表	
26～ 72	設計課題②卒業制作		コンセプトワーク、プランニング、プレゼンボード制作、模型制作、プレゼンテーションそれぞれの設計過程ににおいて2年間の集大成となる作品を制作する	
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
建築・インテリア系雑誌 資料集成		出席率 課題・レポート 授業態度	20.0% 60.0% 20.0%	

科 目 名		学科／学年	年度／時期	授業形態
SP演習		トータルインテリア学科／2年	2025／通年	演習
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	48回	0単位（96時間）	選択	寒川 恵太
授 業 の 概 要				
・ インテリア・空間デザインのプロセスを理解し、想像性豊かなものづくりに取り組む ・ 具体的な場を想定して、店作り・住宅等のコンセプトワーク、プランニングを行う ・ スケッチを基本にまとめ上げるー平面プラン・立体パース				
授業終了時の到達目標				
・ 手描きプレゼンが出来る ー パース（着色） ・ プランニングの進め方が理解できている ・ 独自性のあるコンセプトワークの進め方が理解できている				
実務経験有無	実務経験内容			
有	大型商業施設の商環境デザイン、住宅・店舗の設計の経験を活かした教育を行う。			
時間外に必要な学修				
課題提出の締切に間に合うよう、授業中の各々の進捗に合わせて作図等を行う				
回	テ ー マ		内 容	
1～2	デザイン事例紹介		医院／住宅／設計事例スライド（HPより）	
3～8	テーマ1（物販店舗の設計）		ベーカリー 又は ケーキ	
9～16	テーマ2（飲食店の設計）		南柏駅とペDESTリアンデッキにて繋がるビルのテナント	
17～22	テーマ3（住宅の設計）		高松駅近くの繁華街を立地とする住宅	
23～24	テーマ4（和の手法）		実例紹介 インテリアパース, 着色	
25～30	テーマ5（店舗設計）		業種の設定・実例参考 平面プラン(3コマ目安)、展開スケッチ、インテリアパース	
31～36	テーマ6（インテリア産業協会コンペ）		過去受賞作品分析、条件の把握、成果品まとめ、家具照明	
37～44	テーマ6（インテリア産業協会コンペ）		過去受賞作品分析、条件の把握、成果品まとめ、家具照明	
45～48	テーマ7（郊外型店舗設計）		敷地利用計画、コンセプト・敷地配置、プランニング、ファサードデザイン、外観パース、内観パース	
教科書・教材			評価基準	評価率
スケッチブック トレーシングペーパー コピック 鉛筆、色鉛筆 PC			出席率 授業態度 実習・実技評価	10.0% 20.0% 70.0%
				その他

科 目 名		学科／学年	年度／時期	授業形態
コーディネート演習		トータルインテリア学科／2年	2025／前期	演習
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	24回	0単位（48時間）	選択	三好 里香
授 業 の 概 要				
最新のインテリアの実物に触れ、体験することで、クリエイターに必要な旬な情報とデザインセンスを習得し、同時に実践的な商業施設の店舗内装、コーディネートをプロジェクトチームとして企画デザインし、そのプレゼンテーションスキルを学習する。				
授業終了時の到達目標				
実社会にでて即戦力となる空間デザイン、カラーコーディネートに必要なプレゼンスキルを習得する。				
実務経験有無		実務経験内容		
有		住商業空間のインテリアデザイン、コーディネート、ホームステージング、ショーイングディスプレイ等の経験多数あり。		
時間外に必要な学修				
回	テ ー マ	内 容		
1～2	オリエンテーション	インテリアセラー インテリアコーディネーターの仕事の流儀		
3～4	モデルルーム見学	マンションモデルルーム見学 プロのコーディネーターの仕事ぶりを体感する		
5～6	インテリアスタイルとコンセプトメイクの定義	クライアント（職種）×ターゲットによるコンセプトスタイルのとらえ方のルールを理解する		
7～8	イメージボード&ゾーニングレイアウト制作	各スペースごとのイメージコンセプトを各自が共有できるよう、グループミーティング		
9～10	カラスキム（商業施設&ホテル客室）	インテリアエレメント（仕様）のプレゼンシート制作		
11～12	家具・照明レイアウトプラン	家具・照明のセレクト&レイアウトプラン		
13～14	リアルサンプルイメージボード			
15～16	ショールーム見学			
17～24	ショップイメージ&プレゼンボード作成（課題）	キッチン、家具、壁紙、カーテン		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
		出席率 授業態度 課題・レポート 実習・実技評価	10.0% 30.0% 30.0% 30.0%	

科 目 名		学科／学年	年度／時期	授業形態
IC概論 I		トータルインテリア学科／2年	2025／通年	講義
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	24回	0単位（48時間）	選択	川崎 耕平・正木 香奈
授 業 の 概 要				
建築設備の知識を身に付け、インテリアコーディネーター試験一次試験合格、また卒業後二級建築士試験合格につなげる				
授業終了時の到達目標				
専門用語を理解し専門的知識を身に付け、インテリアコーディネーター試験合格を目指す				
実務経験有無		実務経験内容		
有		RC造の現場管理を10年、木造と鉄骨造の現場管理を12年経験。リフォーム工事、大規模改修工事も経験あり。		
時間外に必要な学修				
回	テ ー マ	内 容		
1	建築設備概論 給排水衛生設備	給水設備		
2	給排水衛生設備	給湯設備 ガス設備		
3	給排水衛生設備	排水設備 衛生器具設備		
4	空気調和設備	空気調和設備空気調和と室内環境 空気の状態を知る		
5	空気調和設備	空調負荷の考え方 空気調和方式の種類・特徴		
6	空気調和設備	熱源・熱搬送設備と機器部材		
7	空気調和設備	換気・排煙設備		
8	電気設備	受変電・幹線設備		
9	電気設備	動力設備 自家発電・蓄電池設備		
10	電気設備	照明・コンセント設備		
11	電気設備	情報・通信設備 防災設備		
12	期末テスト	解答解説		
13～ 15	前期末課題			

回	テ ー マ	内 容		
16～ 19	構法、設備分野復習	コーディネーター直前補講 (構法、構造、設備分野)		
20～ 26	過去問題等			
27	期末テスト	解答解説		
28～ 30	期末課題			
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
インテリアコーディネーター合格教本		出席率	40.0%	
		授業態度	10.0%	
		課題・レポート	10.0%	
		期末試験	40.0%	

科 目 名		学科／学年	年度／時期	授業形態
IC法規		トータルインテリア学科／2年	2025／前期	講義
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	12回	0単位（24時間）	選択	正木 香奈
授 業 の 概 要				
建築の基本的な構造や構法を理解した上で、インテリアコーディネーターとしての基礎的知識を学習する				
授業終了時の到達目標				
専門的用語を理解し、インテリアコーディネーター資格試験(学科)に合格				
実務経験有無		実務経験内容		
有		フリーランスのインテリアコーディネーターとして、22年間従事経験を活かして実務に沿った教育を行う		
時間外に必要な学修				
回	テ ー マ		内 容	
1	建築基準法について		建築基準法の基本的な用語や採光に関する規定について理解する	
2	建築基準法について		換気に関する規定やシックハウス対策について理解する	
3	建築基準法について		居室の床高・天井高に関する規定や共同住宅の界壁・地階の居室に関する規定について理解する	
4	建築基準法について		階段の規定や内装制限について理解する	
5	建築基準法について		建築物と道路の関係・形態・構造に関する制限や建築物を建てるための手続きについて理解する	
6	品確法・消防法・都市計画法・電気ガス関連法規について		品確法の内容・消防法の規定・都市計画法の用語・電気用品安全法の内容について理解する	
7	消費生活関連法規について		消費生活保護に関する動きと法律の成立や消費生活用製品安全法について理解する	
8	消費生活関連法規について		PL法の内容や工業標準化法・JAS法について理解する	
9	消費生活関連法規について		家庭用品品質表示法や割賦販売・クーリングオフについて理解する	
10	消費生活関連法規について		消費者契約法や特定商取引法について理解する	
11	品質表示マークについて		建築基準法の基本的な用語や採光に関する規定について理解する	
12	期末試験		期末試験の実施と授業の振り返り	
教科書・教材			評価基準	評価率
インテリアコーディネーター合格教本			出席率 授業態度 課題・レポート 期末試験	40.0% 10.0% 10.0% 40.0%
				その他

科 目 名		学科／学年	年度／時期	授業形態
IC構造		トータルインテリア学科／2年	2025／通年	講義
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	24回	0単位（48時間）	選択	正木 香奈
授 業 の 概 要				
建築の基本的な構造や構法を理解し、インテリアコーディネーターとしての基礎的知識を学習する				
授業終了時の到達目標				
専門的用語を理解し、インテリアコーディネーター資格試験(学科)に合格				
実務経験有無		実務経験内容		
有	フリーランスのインテリアコーディネーターとして、22年間従事経験を活かして実務に沿った教育を行う			
時間外に必要な学修				
回	テ ー マ		内 容	
1	建築工法について		主要な4種の工法を理解する	
2	建築工法(プレハブ)について		プレハブ住宅の概要を理解する	
3	木造について		木造住宅と木造軸組工法の特徴を理解する	
4	木造について		基礎の構造を理解する	
5	木造について		真壁と大壁の違い・土台の機能を理解する	
6	木造について		柱の種類・その機能を理解する	
7	木造について		胴差・桁・梁の違いを理解する	
8	木造について		筋かい・火打ち・貫の機能を理解する	
9	木造について		和小屋と洋小屋の構造と部材の違いを理解する	
10	木造について		屋根の形を理解する	
11	木造について		床組の種類を理解する	
12	前期試験		試験の実施と授業の振り返り	
13	木造について		床組の工法を理解する	
14	木造について		継手の意味と主な種類を理解する	

回	テ ー マ	内 容		
15	木造について	仕口の意味と主な種類を理解する		
16	緊結金物の種類について	緊結金物の必要性について理解する		
17	緊結金物の種類について	主な緊結金物を理解する		
18	桝組壁工法について	桝組壁工法と軸組工法の違いを理解する		
19	桝組壁工法について	桝組壁工法の施工法を理解する		
20	鉄筋コンクリート造について	鉄筋コンクリート造の特徴を理解する		
21	鉄筋コンクリート造について	鉄筋コンクリート造の構造の種類を理解する		
22	鉄筋コンクリート造について	鉄筋コンクリート造の工事や各部位を理解する		
23	鉄骨造やその他の工法について	鉄骨造やその他の工法の特徴を理解する		
24	後期試験	鉄骨造やその他の工法の特徴を理解する		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
インテリアコーディネーター合格教本		出席率 授業態度 課題・レポート 期末試験	40.0% 10.0% 10.0% 40.0%	

科 目 名		学科／学年	年度／時期	授業形態
IC施工		トータルインテリア学科／2年	2025／後期	講義
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	12回	0単位（24時間）	選択	正木 香奈
授 業 の 概 要				
建築の基本的な構造や構法を理解した上で、インテリアコーディネーターとしての基礎的知識を学習する				
授業終了時の到達目標				
専門的用語を理解し、インテリアコーディネーター資格試験(学科)に合格				
実務経験有無		実務経験内容		
有		フリーランスのインテリアコーディネーターとして、22年間従事経験を活かして実務に沿った教育を行う		
時間外に必要な学修				
回	テ ー マ		内 容	
1	床の下地と仕上げについて		床下地の構造・床仕上げの素材について理解する	
2	壁の下地について		壁の工法や構造・下地の種類について理解する	
3	壁の仕上げについて		左官仕上・種類について理解する	
4	天井の下地と仕上げについて		各構造の天井下地の構成・天井の形について理解する	
5	屋根の下地と仕上げについて		屋根下地・屋根葺きの用語・防水工事の方法について理解する	
6	和室の造作について		造作・内法の意味や柱の面取り・見切縁について理解する	
7	床の間について		床の間の形式・様式・部材について理解する	
8	洋室の造作について		洋室開口部の造作や洋室の見切縁について理解する	
9	階段について		階段の設計の考え方や構成部材と種類について理解する	
10	内装構成材について		構成材の流通・規模や床・天井・間仕切り・収納間仕切りユニットの分類と特徴について理解する	
11	施工関連用語について		覚えておく便利な用語について理解する	
12	期末試験		期末試験の実施と授業の振り返り	
教科書・教材		評価基準		評価率
インテリアコーディネーター合格教本		出席率 授業態度 課題・レポート 期末試験		40.0% 10.0% 10.0% 40.0%
				その他

科 目 名		学科／学年	年度／時期	授業形態
IC材料		トータルインテリア学科／2年	2024／通年	講義
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	24回	0単位（48時間）	選択	川崎 耕平
授 業 の 概 要				
建築・インテリアに関係する材料の特性を知り、各材料が及ぼす環境への影響について理解する 前期で学んだ建築材料について、過去のインテリアコーディネーター試験問題を解きながら、より知識を深める インテリアコーディネーター2次試験対策として、小論文の書き方を学ぶ				
授業終了時の到達目標				
専門的用語を理解し、インテリアコーディネーター資格試験(学科・製図)に合格				
実務経験有無		実務経験内容		
有		RC造の現場管理を10年、木造と鉄骨造の現場管理を12年経験。リフォーム工事、大規模改修工事も経験あり。		
時間外に必要な学修				
専門用語(用語辞典の活用)を早く習得する 実物の材料を見て触って知識を具体化し定着させる				
回	テ ー マ		内 容	
1	木材の性質		木材の長所と短所 名称と木取りに関する用語 強度	
2	木質系材料		合板等の製法と性質	
3～4	鋼材・金属系建築材料・コンクリート・ボード製品		それぞれの特徴や用途、種類	
5	機能材料・仕上材①		機能材料の定義と種類 仕上材（陶磁器）	
6	仕上材②		仕上材（ガラス・プラスチック・石材）	
7	左官材料 カーペット		材料の特徴 カーペットの製法と特徴	
8	壁紙・塗料		特徴と生活上での影響	
9～10	左官材料 カーペット		材料の特徴 カーペットの製法と特徴	
11	壁紙・塗料		特徴と生活上での影響	
12	前期末試験		期末試験の実施と授業の振り返り	
13～19	現場見学orコンペor資格試験基礎講座 等適宜			
20	プレゼン図面作成等		短時間でプレゼンできるだけの図面作成力を高める	
21	プレゼン図面作成等		短時間でプレゼンできるだけの図面作成力を高める	

回	テ ー マ	内 容		
22	プレゼン図面作成等	短時間でプレゼンできるだけの図面作成力を高める		
23	プレゼン図面作成等	短時間でプレゼンできるだけの図面作成力を高める		
24	後期末試験	期末試験の実施と授業の振り返り		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
インテリアコーディネーター合格教本		出席率	40.0%	
		授業態度	10.0%	
		課題・レポート	10.0%	
		期末試験	40.0%	